

「ソメイヨシノの実」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

ソメイヨシノやオオシマザクラなどのサクラが花を咲かせるのは、言うまでもなく、受粉をして果実をつくる為である。しかしヒトは、毎年春になるとサクラの花を愛でても、そのあとになる実には興味がないようだ。



4月の小石川植物園は、サクラを観る人で大変な賑わいだった。ここのサクラは主としてソメイヨシノで、手の届く高さに枝が垂れている樹が多いので、目と花の先、いや目と鼻の先に花が咲いているのを見られる。



私は日曜日に文京区役所に用事があり、自転車で出かけた。帰り道に植物園の前を通るので、「美しい五月の植物園」に、ちょっと立ち寄ってみた。この植物園はツツジも美しいのだ。サクラの花はもちろん、残念ながらツツジの花もほとんど終わっていた。しかし、この日は天気が良かったので、園内は思いのほか人が多く、ピクニックを楽しむ人が多かった。



私はソメイヨシノの枝先を観察してみた。実がついている。小さなサクランボだ。未熟な果実は、上を向いて実っている。しかし、あれだけの花が咲いていた割には、果実の数は少ない。ざっと見て、花20輪に1個程度しか実にはならないようだ。



ソメイヨシノの実も、食用にならないわけではない。もう少し熟すと、一応食べられる。しかし食用栽培のサクランボ(ミザクラ)とは品種が異なり、これ以上大きくは成長しない。



接写撮影すると、果実の特徴がよくわかる。まるでヒメリンゴのようだ。私は試しに一つ口に入れてみたが、渋く酸っぱく、サクランボの味にはほど遠かった。